

第65回

福岡県公民館大会

配信期間：令和2年10月5日(月)～10月30日(金)

WEB動画配信

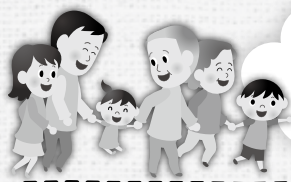


戸畑祇園大山笠



主催

福岡県公民館連合会、福岡県教育委員会



目次



第65回福岡県公民館大会 県公連会長挨拶	1
第65回福岡県公民館大会 開催要項	2
令和2年度福岡県公民館連合会表彰一覧（公民館役職員・優良公民館）	4
令和2年度全国公民館連合会表彰（永年勤続職員）	6
パネル・ディスカッション	8
福岡県公民館大会年表	28

戸畑祇園大山笠

戸畑祇園大山笠は国の重要無形民俗文化財に指定されており、福岡県夏の三大祭りの一つとして親しまれています。210年を超える歴史を誇り、昼は勇壮な幟山笠が、夜には美しい12段、309個の提灯を重ねた提灯大山笠に衣替えます。『ヨイトサ、ヨイトサ』のかけ声とともに豪華で迫力のある共演を繰り広げます。平成28年には、「戸畑祇園大山笠行事」を含む全国33の「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。

官営八幡製鐵所 旧本事務所

幕末から明治時代にかけて日本の近代化に貢献した産業遺産群、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が、平成27年7月5日、世界文化遺産に登録決定されました。この遺産群は、8県11市にまたがる23資産からなり、北九州市からは、官営八幡製鐵所関連施設が構成資産に含まれています。

製鐵所構内に立地していることから一般公開はされていませんが、旧本事務所の外観を眺望できるスペースが整備されています。

小倉発祥焼うどん

小倉発祥の「焼うどん」は終戦時の1945年(昭和20年)に誕生した北九州の名物料理です。干しうどん(乾麺)を使用した麺の「もっちり」感と「天まど」と呼ばれる卵のせが美味しい一品です。終戦直後、焼そば用のそば玉がなかったため、干しうどんを湯がき焼いて作られた小倉の「焼うどん」。キャベツや玉ねぎの甘さや旨みがギュッと詰まっています。

門司港駅

大正3年に建築されたネオ・ルネッサンス様式の駅舎。1988年に駅舎としては日本で初めて国指定重要文化財に指定されました。現役の駅舎で国指定重要文化財に指定されているのは、門司港駅と東京駅の二つだけです。約6年の保存修理工事を経て、2019年3月10日にグランドオープンしました。

クルーズトレイン「ななつ星」も 毎週火曜日にやってきます。停車時間は13時30分～14時30分です。

第65回福岡県公民館大会 県公連会長挨拶



福岡県公民館連合会

会長 木原 忠

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国的に多くのイベント・行事が中止・延期を余儀なくされる中、第65回福岡県公民館大会が皆様の御理解、御協力のもとインターネットを活用して開催されますことを嬉しく思っております。また、公民館関係者の皆様には、日頃から公民館活動を通して「人づくり・学びづくり・地域づくり」に御尽力いただいておりますことに対しまして、深く感謝申し上げます。さらにこの度、地域の公民館活動の振興に顕著な御功績があった方々に対しまして、福岡県公民館連合会から表彰させていただきます。表彰を受けられます皆様には、心から敬意を表しますとともに、お祝申し上げます。

さて、今年度は、新型コロナウイルスの影響により、「つどう・まなぶ・むすぶ」機能を生かした日常の公民館活動が制限されるとともに、本大会も一堂に参集しての開催を断念せざるを得なくなりました。しかし、このような中でも、人々の学びへの欲求に対して、我々公民館は応えていかなければなりません。そこで、学びに対する新たな可能性を求めて、挑戦していくことも重要であると考え、今回このような開催形式をとらせていただきました。

今年度の県公民館連合会のテーマは、昨年度のテーマを引き継ぎ「持続可能な地域づくりに向けた公民館活動の在り方」としています。そこで本大会ではサブテーマである『多世代の関わり』や『学校や各種団体との連携・協働』などをどう具現化していくかを通して、公民館の役割を更に深めることとしました。パネル・ディスカッションでは、令和元年度優良公民館文部科学大臣表彰最優秀館に選ばれた宮城県白石市の斎川公民館をはじめ、県内外で先進的に取り組まれている公民館等から4名の方をオンライン会議ツールで繋ぎ、NPO法人ドネルモの宮田智史様のコーディネートのもと、本テーマについて討議していただきました。また、御登壇いただいた皆様による「コロナ禍における公民館活動」についての座談会の様子も収録していますので、参考にされてください。

結びに、大会開催に当たり、昨年度から準備を進めていただきました北九州市及び関係各位の御配慮に心からお礼を申し上げますとともに、公民館関係者の皆様のますますの御活躍と御健勝を祈念申し上げ、挨拶といたします。

令和2年10月5日



第65回 福岡県公民館大会開催要項

※公民館（市民センター・コミュニティセンター等を含む。）

- 1 趣 旨**

近年、少子・高齢化、高度情報化、都市化・過疎化の進行、生活様式や価値観の多様化等、社会情勢が急激に変化しています。その結果、地域の担い手不足や人間関係の希薄化などが懸念され、いかにして持続可能で活力ある社会を構築していくかが問われています。そのような中、地域住民に身近な施設として大きな強みを持っている公民館には、人が育ち、人がつながる拠点として、長年蓄積されてきた豊富な学びのノウハウと、貴重な教育財産を活かしていくことが求められています。

そこで本大会では、昨年度、明らかになった「多世代の関わり」や「学校や各種団体との連携・協働」などの視点を基に、県内外の実践の紹介や協議をとおして、県内の公民館関係者・コミュニティ施設関係者とともに学び合い、より一層の公民館の充実と発展をめざして実施します。
- 2 大会テーマ**

「持続可能な地域づくりに向けて 公民館が進む道」
～「多世代の関わり」や「学校や各種団体との連携・協働」などをどう具現化していくか～
- 3 主 催**

福岡県公民館連合会、福岡県教育委員会
- 4 後 援**

福岡県、福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県市町村教育委員会連絡協議会
福岡県社会教育委員連絡協議会、福岡県視聴覚教育協会、福岡県PTA連合会
福岡県地域婦人会連絡協議会、福岡県子ども会育成連合会、福岡県文化団体連合会
福岡県明るい選挙推進協議会、福岡県金融広報委員会
- 5 配 信 期 間**

令和2年10月5日（月） 9：00～令和2年10月30日（金） 17：00
- 6 参 加 者**

約1,000名
公民館等職員、自治（町内）公民館等関係者、市民センター関係者、コミュニティ施設関係者、公民館運営審議会委員、社会教育委員学校教育関係者、生涯学習・社会教育関係者、社会教育関係団体

7 実施方法 VTRのWEB配信及びDVD等の送付、大会誌の作成



8 実施内容

- (1) 開会の言葉
- (2) 会長挨拶
- (3) 教育委員会挨拶
- (4) 趣旨・日程説明
- (5) パネル・ディスカッション

「多世代の関わり」や「学校や各種団体との連携・協働」などをどう具現化していくか

・パネリスト：

宮城県白石市斎川公民館 館長	畑中 多賀男 氏
佐賀市立南川副公民館 主事	田中 みさ子 氏
久留米市津福校区まちづくり協議会 総務	入部 昭生 氏
パルキッズ久留米大学 責任者	張 友樹 氏

・コーディネーター：

NPO法人ドネルモ 事務局長	宮田 智史 氏
----------------	---------

- (6) 座談会

「コロナ禍における公民館活動」

- (7) 閉会



福岡県公民館連合会表彰



令和2年度福岡県公民館連合会表彰一覧（公民館役職員）

種別	番号	市町村名	氏 名	所属	役職名	業 績
公立 公民館	1	福岡市	かさ なみ えい じ 笠 波 榮 治	ひがしく 東区 はこ 松 こう かん 宮 松 公 民 館	かん 館 ちょう 長	【高齢者教育】公民館が出会い・学習・体験・交流・課題解決の場となるように事業を推進し、乳幼児から高齢者まで様々な人のコミュニケーション拠点となるよう努めるなど住民に愛される公民館運営に貢献した。
	2		いわ ろろ かつ こ 岩 室 勝 子	さわりく 早良区 た 田 村 こう かん 田 村 公 民 館	かん 館 ちょう 長	【多世代の連携】地域団体との連携や地域イベントへの参画推進を行うとともに多世代が交流できる事業を行うなど地域の特性に合ったコミュニティづくりに貢献した。
	3		たけ うち きみ よ 竹 内 君 代	ひがしく 東区 た 多 ら こう かん 多 々 良 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【青少年育成】異年齢の子どもたちの交流の場づくりや、親子で参加できる事業を企画するなど地域の課題解決に取り組むとともに子どもの健全育成や子育て支援に貢献した。
	4		みなみ ざき み つ こ 南 崎 美 津 子	ひがしく 東区 わか みや こう かん 若 宮 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【青少年育成】夏休み期間を中心に異年齢の子どもたちの交流の場づくりに努めたり、子どもの見守り、地域交流を目的とした事業を推進したりするなど校区の課題解決と子どもの健全育成に貢献した。
	5		みや ざき ゆう こ 宮 壽 祐 子	ひがしく 東区 か しい はま こう かん 香 椎 浜 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【国際交流】「公民館を拠点とした外国人との交流促進事業」モデル校区として、公民館を中心に関係機関と連携し、さまざまな異文化交流事業を企画・実施するなど地域課題解決とコミュニティ形成に貢献した。
	6		やま ぐち はる よ 山 口 春 代	みなみく 南区 お 日 佐 こう かん 日 佐 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【団体育成・サークル活動】多様化する地域住民の学習ニーズや地域課題を的確に捉えた講座づくり、研修会の企画・運営に取り組むなど事業を通じて公民館と地域住民の調和に貢献した。
	7		え とう ひろ み 江 藤 浩 美	じょうなんく 城南区 なな 七 こう かん 七 隈 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【組織づくり、仕組みづくり】小中学生、PTA、地域住民での意見交換会を実施し、意見が具体化された活動やボランティアの組織化など地域課題を解決し、夢を実現できる組織づくり・仕組みづくりに貢献した。
	8		よし むら ち え 吉 村 千 恵	にしく 西区 うち はま こう かん 内 浜 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【多世代の連携】公民館事業を通じて校区の子ども達や若年夫婦世代などの地域参加を促すとともに、高齢者の活動機会を推進するなど多世代の連携による住みよい地域づくりに貢献した。
	9		にし の よし こ 西 野 美 子	にしく 西区 せい りょう こう かん 西 陵 公 民 館	しゅ 主 じ 事	【多世代の連携】子どもの健全育成、子育て世代の支援、高齢者の居場所づくりなど校区の状況に合わせた事業を展開し、様々な世代のコミュニティの拠点・学習の場として公民館運営に携わるなど地域のまちづくりに貢献した。

種別	番号	市町村名	氏 名	所属	役職名	業 績
公立 公民館	10	福岡市	なか お 尾 恭 子 中 尾 恭 子	にしく 西区 す 周 船 寺 公 民 館	しゅ 主 事	【多世代の連携】 公民館の役割やあり方を常に意識した子どもの健全育成、子育て世代の支援、高齢者の居場所づくりなどを行うとともに、様々な世代のコミュニティ活動・社会教育活動の場づくりに取組むなど地域のまちづくりに貢献した。
	11	糸島市	よし かね もと ふ さ 佐 吉 兼 幹 富 佐	いとしまし 糸島市 らい ざん こう 民 館	しゅ 主 事	【多世代の連携】 公民館事業の情報発信に積極的 に取り組むとともに地域課題解決に向けた事業 の企画・運営を行うなど住民のための地域づく りに貢献した。
	12	古賀市	あ そ う もと こ 子 麻 生 元 子	こ が し 古賀市 こう 民 館 運 営 審 議 会	い 委 員	【公民館施設の管理・運営】 公民館の運営につ いて複数の立場の視点から調査・審議を行い、各 種事業の企画・実施について意見を述べるなど、 公民館施設の管理・運営に貢献した。
	13	みやま市	かば し ま まさ ゆき 樺 島 正 文	みやま市 せ た 高 公 民 館 上 庄 支 館	し 支 館 長	【多世代の連携】 伝統・歴史のある行事の継続と 時代に合わせた新規事業の展開など地域住民の ニーズを取り入れた地域づくりをP T Aや子ども 会と連携して行うなど地域の活性化に貢献した。
自治（町内） 公民館	1	北九州市	むら かみ たか ひこ 彦 村 上 隆 彦	こくらきたく 小倉北区 いづみ だい こう 民 館	かん 館 長	【大学や他機関との連携】 市民センターと連携して 地域の学びの場としての役割を担うなど近隣施設 や様々な世代と連携し、地域の生涯学習促進に貢 献した。
	2		はやし まさ ひろ 博 林 正 博	わかまつ く 若松区 いわ や 公 民 館	かん 館 長	【多世代の連携】 地域行事や文化活動の実施を積 極的に行うことによって多世代にわたる地域住 民の連携意識を高めるなど、住みよいまちづく りに貢献した。
	3	直方市	ほり たかし 孝 堀 孝	の お が た し 直方市 なか い づ み 中 泉 2 区 自 治 区 公 民 館 (兼) 中 泉 校 区 自 治 区 公 民 館	かん 館 長	【ボランティア活動】 地域活動の先頭に立ち、環 境美化・保全活動や見守り防犯活動を行うなど 様々なボランティアを通して地域課題の解決や 人づくり、地域づくりに貢献した。
	4	大川市	し き やす たか 孝 志 岐 保 孝	お お か わ し 大川市 すみ よし 住 吉 町 公 民 館	かん 館 長	【多世代の連携】 敬老会と子ども会の交流などの 行事を通じた世代間交流を促進したり、リーダ ーシップを発揮し、多岐にわたる活動の中心を担 ったりするなど住みよいまちづくりと地域の活 性化に貢献した。
	5		し みず かつ とし 利 清 水 勝 利	お お か わ し 大川市 や よ い ま ち 公 民 館	かん 館 長	【組織づくり・仕組みづくり】 町行事のマニ ュアルづくりや町内防災組織の立ち上げ準備を 行い運営上の課題解決へ積極的に取組むなど公 民館の活性化と地域づくりに貢献した。
	6	飯塚市	た なか まさ ゆき 幸 田 中 正 幸	い い づ か し 飯塚市 ひ ら つ ね な か の じ ち 公 民 館	かん 館 長	【健康づくり】 長年に亘り館長を勤める中で、社 会福祉協議会と連携しながら地域のスポーツや 福祉活動の企画、ラジオ体操の実施など地域住 民の健康づくりに貢献した。
	7		もと かわ きょう すけ 介 本 川 恭 介	い い づ か し 飯塚市 か み の う ら じ ち 公 民 館	かん 館 長	【多世代の連携】 様々な地域行事を通して地域住 民の交流や地域活性化に努め、他の公民館と連 携した行事の際は中心的な役割を担うなど長 年に亘って地域づくりに貢献している。
	8	糸田町	かわ の みつ お 夫 河 野 光 夫	いと だ まち 糸田町 しん お か ち 公 民 館	かん 館 長	【多世代の連携】 三世代交流を柱に住民の親睦・ 融和を図るために恒例の地域行事を開催して おり、地域のつながりを確かなものにするなど 文化的で住みよい地域づくりに貢献した。



令和2年度福岡県公民館連合会表彰一覧（優良公民館）

種別	番号	市町村名	公 民 館 概 要				特 色
公立 公民館	1	福岡市	公民館名		所在地	館長名	人権尊重の精神を基底に据え、子どもから高齢者まですべての年齢層を対象とした主催事業を実施している。中でも、「みんなの公民館」講座は、地域住民が主体的に企画・準備・運営に携わることで、人材発掘と育成をするだけでなく自分たちの公民館であることを感じられる取組となっている。各種団体との連携も多く、地域コミュニティの醸成に向けた活動を展開している。
			めい ぼく こう みる かん 姪北公民館		〒819-0002 福岡市西区姪の浜2-20-28	眞鍋順治	
			施設・設備の状況	敷地面積	18,773.13㎡		
				建物延面積	436.90㎡		
				構 造	R C		
				建築年月日	H22. 3. 15		
			主 な 設 備		事務室／講堂／学習室／ 地域団体室／和室		
公民館 類似施設	2	朝倉市	公民館名		所在地	館長名	平成29年九州北部豪雨災害で被災した地域であり、コミュニティの再生・存続をかけたコミュニティビジネスが展開されている。特に、遊休・荒廃農地を活用したソバ栽培は、開花時期の観光客の訪問、収穫後のそば打ち体験、そばの実の加工品販売など地域の再生・活性化に向けた事業となっている。
			ます え ち い き 松末地域コミュニティ協議会		〒838-1504 朝倉市杷木星丸1168-4	日隈繁夫 (事務局長)	
			施設・設備の状況	敷地面積	—		
				建物延面積	—		
				構 造	—		
				建築年月日	—		
			主 な 設 備		—		
公民館 類似施設	3	小郡市	公民館名		所在地	館長名	学校施設の中のコミュニティセンターとして、その利点を活かした事業を行っている。「地域」「学校」「家庭」「コミュニティセンター」の連携により、コミュニティセンターの事業はもちろん、学校・地域の事業も発展的・安定的に継続されている。新興住宅地として生まれた地域の活性化・人材づくりに大変貢献している。
			のぞみ が 丘 校 区 コミュニティセンター		〒838-0107 小郡市希みが丘5-2-17	中地 幸	
			施設・設備の状況	敷地面積	82㎡		
				建物延面積	82㎡ (学校との共有施設 825 ㎡)		
				構 造	R C		
				建築年月日	H11. 2. 25		
			主 な 設 備		多目的室／音楽室／ コンピュータ室／和室／家庭科室		

令和2年度 全国公民館連合会表彰

【永年勤続職員表彰】

よしかね
吉兼もとふさ
幹富佐

糸島市立雷山公民館 主事

パネル・ディスカッション





パネル・ディスカッション

「多世代の関わり」や「学校や各種団体との連携・協働」などをどう具現化していくか

コーディネーター

NPO 法人ドネルモ 事務局長 ^{みやた}宮田 ^{さとし}智史 氏



1984 年福岡生まれ。NPO 法人ドネルモ事務局長 / 理事。九州大学大学院芸術工学府修士課程修了。2012 年、「自分たちの暮らしを自分たちでつくる」文化的な社会を目指して、高齢社会におけるコミュニティづくりに取り組む NPO 法人ドネルモを設立。その他に大野城市共働コーディネーター、福岡市共働促進アドバイザー、福岡大学非常勤講師（生涯学習支援論）など。

【テーマについて】

公民館は戦後すぐに社会教育と住民自治（民主主義）を担う中核的な機関として構想され、学びを軸に生活課題の改善を促したり、多様な住民同士の対話・相互理解を後押ししたりしつつ、次世代へと地域の未来をつなぐ役割が期待された存在です。そして、この役割は今でも非常に重要です。ただし、時代の変化とともに、「新たな取り組みや働きかけ」について改善や創意工夫が大いに求められています。本大会ではそうした「新たな取り組みや働きかけ」を一緒に学んでいけたらと思っています！

パネリスト

宮城県白石市斎川公民館 館長 ^{はたなか}畑中 ^{た か お}多賀男 氏



自治会長 3 期 9 年間（3 年間は館長と兼務）、公民館長 2 期目（4 年目）、農業・高校非常勤講師に従事。

【テーマについて】

地域から、小・中学校が消え、子どもたちの姿が消え、声を聞くことができなくなり、少子高齢化、人口減少で地域消滅の危機が迫ってきております。地区民は危機意識を共有し、「きらり斎川笑アップ塾」を立ち上げ、「きらり斎川笑アップ」の里づくり、活力ある福祉の里づくりに向けて、取り組み始めたところです。

佐賀市立南川副公民館 主事 ^{たなか} 田中 ^こ みさ子 氏



平成 18 年度に佐賀市立久保泉公民館主事として採用され、巨勢公民館主事を経て現職。

【テーマについて】

平成の大合併で佐賀市となったこの地。町政 50 年の歩みの中で築かれてきたものは何なのか？地域の方と一緒に掘り起こしをする日々です。故郷への想いを大事にし、次世代に受け継ぐことが大切だと思っています。

久留米市津福校区まちづくり協議会 総務 ^{いりべ} 入部 ^{あきお} 昭生 氏



現在 津福校区まちづくり協議会 総務

津福校区まちづくり協議会の事務局長として6年間在籍

定年退職時、校区の役員改正の年だった所、自治会推薦が有って、選考委員会より総務としての応援依頼が有り現在に至る。(8年目)

津福校区は子ども向けの事業に力を入れている校区と思っているが、歴代の会長や責任者の方達が子どもの事に積極的な人が多かったから盛んになったと思う。

まわりの環境も有ってか、自身も子ども向け事業に力が入った。

何処でも言われている事と思うが

- ・ ボランティアは楽しく
- ・ 子どもは地域の宝物

この2点を思いながら活動している。

【テーマについて】

津福校区コミュニティセンターは津福小学校と隣り合わせでお互いの行き来がしやすいように通用口を作り、連携がしやすく、相談や打ち合わせがうまく行っている校区とって居る。

校区の子ども向け事業の中でも子どもフェスタやふれあいコンサート等、学校・PTAと連携して行っている。学童保育とも似顔絵コンクールや映写会等で連携。校区全体事業でも校区防災訓練で学校・PTAと連携をして出来ている。

何処の公民館でも高齢者の活躍で成り立っている所が多いと思うがそう言った中でも若い力が欲しい事がどうしても出て来ると思う。

津福校区は子ども関係ではパルキッズさんに変にお世話に成っているがそう行った時におんぶに抱っこに成り過ぎないように、また、動いて貰う時にやりやすい様にして行く事を心がけていく。

パルキッズ久留米大学 責任者 ^{ちょう} 張 ^{ゆうき} 友樹 氏



「大学生と地域住民・小学校・行政が一体となり、子どもたちの居場所づくりを行うこと、地域の活性化の貢献を目指し、地域に根ざした活動を行うこと」を目的に2010年に福岡県久留米市にて団体を設立しました。メンバーは10名程度ですが、年間約100日の活動を実施しています。また、年齢的に、大学生は子どもと大人(地域の方々)の間ぐらいなので、双方の通訳として話を繋げるように心がけしながら活動をしています。



※視聴前に御記入ください。

御自分の所属公民館・所管の公民館について

【地域の様子】（年齢層・産業・伝統・人の流入等）

【サブテーマについて】（多世代、連携・協働の事業等の有無や様子）

御自分の考え（討議題に対してどう考えるか）

【討議①】

これから「多世代の関わり」や「学校や各種団体との連携・協働」などを進めていこうとするときに何を手始めにやった方がよいか（やるべきか）

【討議②】

継続的に「多世代の関わり」や「学校や各種団体との連携・協働」などを進めていくために、どのような仕組みや留意点があるのか

※視聴後に御記入ください。

【感想】



◆◆◆ × 毛 ◆◆◆

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.



≡ 第65回 ≡

福岡県公民館大会

「持続可能な地域づくりに向け
て、公民館が進む道」

福岡県公民館連合会、福岡県教育委員会

収録日：2020/9/3

本日の流れ

- ◇趣旨説明&コーディネーター紹介
- ◇実践報告① 福岡県久留米市津福校区まちづくり協議会とパルキッズ久留米大学
- ◇実践報告② 佐賀県佐賀市南川副公民館
- ◇実践報告③ 宮城県白石市斎川公民館
- ◇パネルディスカッション
- ◇おまけ座談会

2

大会テーマ

『持続可能な地域づくりに 向けて 公民館が進む道』

～「多世代の関わり」や「学校や各種団体との
連携・協働」などをどう具現化していくか～

3

公民館（社会教育施設）を取り巻く課題と期待

- ① 少子高齢化、産業構造の変化、都市化・過疎化、住民の価値観やライフスタイル、ニーズの多様化
- ② 地域における人のつながりや支え合いの意識の希薄化、若い世代の加入・参加率、地縁組織等のコミュニティ機能の低下
- ③ 教育やまちづくり、高齢者福祉など多様な分野からの「地域の担い手づくり」「連携・協働」への期待
- ④ NPOやボランティア団体、病院・介護事業所、大学、企業など多様な主体の存在



「多世代の関わり」や「多様な主体との連携・協働」を踏まえた公民館のあり方、業務の再構築が必要

地域の未来づくりのために

そんなことまで公民館の役割なの？
公民館にこれ以上色々なことを期待（押しつけ）
されても困る！

たしかにそうですね・・・それでも

地域の未来づくりのために、絶えず変化
する課題やニーズに応えながら、公民館
自体が様々な住民から「地域の資源」
「不可欠な存在」と実感してもらえるよ
うな働きかけやチャレンジは重要

5

コーディネーター紹介

宮田 智史

（みやた さとし）

福岡市在住・出身、35歳



- ★NPO法人ドネルモ 事務局長/理事
- ★福岡大学 非常勤講師（生涯学習支援論）
- ★大野城市共働コーディネーター
- ★8年ほど前からNPOや地域活動団体向けの事業運営相談、研修などを実施

6

NPO法人ドネルモ

超高齢社会を見据え、
1人ひとりの可能性が
誰かに関わることで
かたちになってゆく
社会をつくる

- 設立：平成24年3月
- 所在地：福岡県福岡市博多区
- 事業規模：3,600万円
- 職員数：7名
- 正会員：13名



ドネルモの事業

地域デザインの学校

(ふくおか共助社会づくり表彰)

住民主体の活動が生まれる 場づくり を通して、地域の「支えあいのかたち」を豊かにするプロジェクト。3ステップで活動が生まれるプログラムを実施。受講者の9割が行動変容、福岡市を中心に北部九州・山口20地域での実績。



8

地デザ卒業生たちの活動例：樋井川テラス



樋井川 テラス

2015.2~

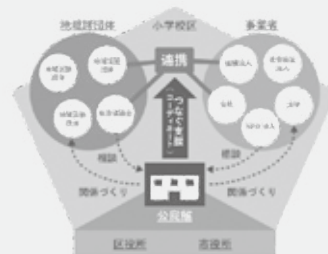
- ・ 第2期：南区西長住校区
- ・ 名店街の空き店舗をDIYして、地域のたまり場に
- ・ 2016年7月オープン。
- ・ 自治会関係者など地域の人と一緒に運営方針を相談
- ・ カフェ、地域食堂、レンタルスペースを兼ね備える

<https://www.facebook.com/kaminagaio.terrace/>

公民館コラボLAB事業

地域における共創のまちづくりの活性化に向け、
公民館のコーディネート機能を活用することにより、
地域諸団体と事業者との連携事業の促進を図るプロジェクト

- ・ 平成30年～福岡市市民局公民館支援課との共働事業として実施中
- ・ 市内147館全公民館へヒアリング、アンケート調査を実施
- ・ 公民館職員、地域支援課等とも協力しながら、3年間で公民館の連携・協働に関する手引きの作成、環境整備、伴走支援などに取り組む



10

福岡小学校・独自科目「にんげん」

小学5年生に対して1学期間に渡って実施される地域学習プログラムの設計・運営協力

- ・ 福岡教育大附属福岡小学校「にんげん」の科目(5年生、3クラス約70人)の1学期間の授業への協力
- ・ 福岡小は文部科学省の研究開発指定校に位置づけられており、国語、算数、理科、社会などの教科に縛られず教員が自由にカリキュラムづくりが可能
- ・ 児童生徒は広域から通学しているため、「地域」との関わりが乏しかった。
- ・ そこで、探究的学習+地域学習のプログラムの授業設計や、地域組織、公民館、企業とのコーディネート、プログラム運営協力を行った



11

この時間の学び方について

- ・ **ないもの探しよりもあるもの探しを！**
→ ついつい「登壇者の地域と自分の地域は違う。置かれた環境や条件が異なる。なので参考にはならない」と思いがち。もちろん同じ「地域や条件」などありません。しかしヒントや共通はあるはず！
- ・ **実践報告の内容と内実を読み解く！**
— いつ、だれが、どこで、何を？
— きっかけは？(それを呼び込む準備や心構え)
— どのように働きかけを行ったのか？
— 手順やプロセス(過程)は？

12



実践報告

- ① 福岡県久留米市津福校区まちづくり協議会
とパルキッズ久留米大学
- ② 佐賀県佐賀市南川副公民館
- ③ 宮城県白石市斎川公民館

13

パネルディスカッション

【討議 1】

『これから「多世代の関わり」や「学校や各種団体との連携・協働」などを進めていこうとするときに何を手始めにやった方がよいか（やるべきか）』

14

パネルディスカッション

【討議 2】

『継続的に「多世代の関わり」や「学校や各種団体との連携・協働」などを進めていくために、どのような仕組みや留意点があるのか』

15

さいごに

- ・公民館の役割は「人づくり」「担い手づくり」。そのためには「事業の参加者から当事者・担い手」へと後押しする、学習支援者としての働きかけ（連携・協働のコーディネート、ファシリテーション、ふりかえりなど）が必要
- ・学びを提供する立場であるからには、自らも学び姿勢を！アンテナを広げて、新しいネットワークをつくる
- ・多様な住民の学びや参加と協力を促すためには、地域の中の様々な主体とのつながり（連携）や掛け合わせ、そして安心して他者と関わりが持てる場所が必要。その場所を公民館が担う

16



◆◆◆ ヌ 毛 ◆◆◆

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.



地域と若者の連携による子どもの育成 ～パルキッズ久留米大学と連携した津福校区のとりのくみ～



津福校区まちづくり協議会
総務 入部 昭生

パルキッズ久留米大学
責任者 張 友樹

目次

- ・ 津福校区の概要
- ・ パルキッズ久留米大学の概要
- ・ 連携することになった経緯
- ・ 具体的なとりのくみ
- ・ 連携を通しての成果
- ・ 今後に向けて

津福校区の概要

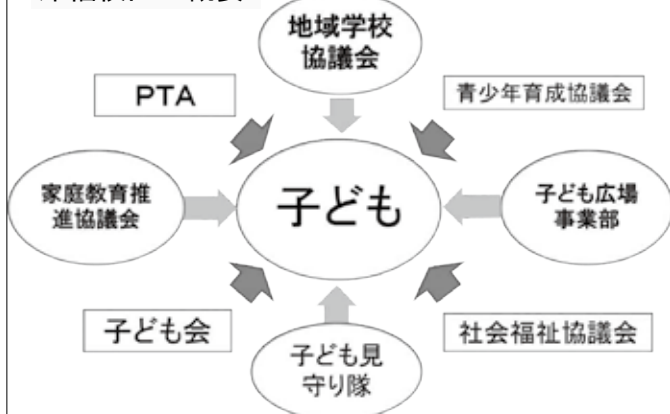


津福校区の概要

人口 12,306人
世帯数 5,565世帯
高齢化率 25.5%
自治会数 11
(平成31年4月1日現在)



津福校区の概要



パルキッズ久留米大学の概要

「パルキッズ久留米大学」とは

- ・ 小学校やコミュニティセンターで、小学生と大学生が勉強や遊び等を通して一緒に学ぶことを目的とした準公認サークルです。

また、久留米市市民公益活動団体としても登録し、活動をしています。

↓
大学生と地域住民と小学校が一体となって子どもたちの居場所づくりを行う

パルキッズ久留米大学の概要

主な活動内容

- ・ 放課後居場所づくり(遊び・学習)
- ・ 自然体験教室
- ・ 通学合宿
- ・ 地域行事への参画

パルキッズ久留米大学の概要

活動における大学生の役割

大学生は子どもではないが、
大人でもない。

だからこそ、子どものニーズを
大人に伝えることが出来る！

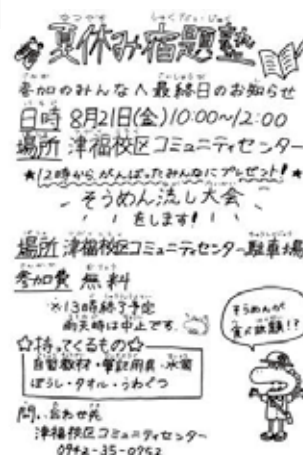


「子どもと大人の伝達役」

連携することになった経緯

- ・ 2011年 草野校区土曜塾の事例発表
- ・ パルキッズ久留米大学の活動の紹介をする
- ・ 津福校区が取り組んでいる、子どもを中心としたとりくみとマッチングし連携することに。

夏休み宿題塾



夏休み宿題塾



夏休み宿題塾





夏休み宿題塾



子ども広場宿泊体験



子ども広場宿泊体験



子ども広場宿泊体験



子ども広場宿泊体験



子ども広場宿泊体験



クリスマス発表会



クリスマス発表会



子どもフェスタ



子どもフェスタ

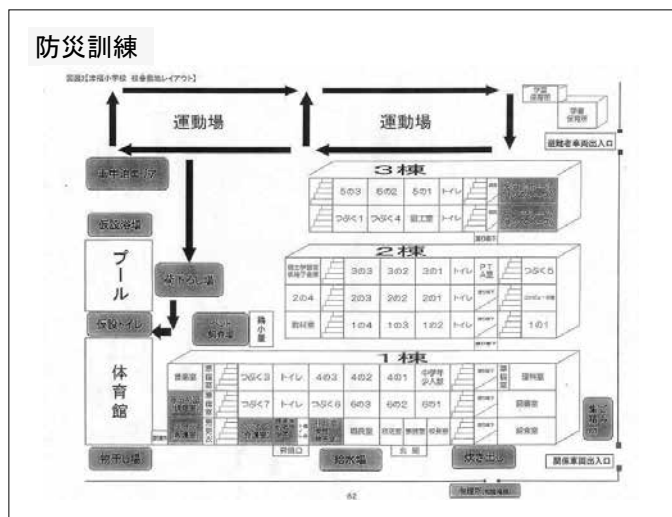


子どもフェスタ



子どもフェスタ





取り組みの成果

【津福校区】

- 若い人たちの考えを取り入れることで、子どもたちの体験活動の充実を図る事ができた。
- 子どもたちの将来のモデルになっている。

【パルキッズ久留米大学】

- 子どもたちとの活動を通して、スタッフ一人ひとりの自尊感情が高まっている。
- 久留米の事を知る機会となった。

文部科学大臣賞受賞



今後に向けて



ご清聴 ありがとうございます。



郷土への想いを 形にし、次世代へつなぐ

1992年



2018年



佐賀市立南川副公民館
田中 みさ子

南川副校区の紹介



干拓で培われた肥沃な土地
海苔養殖がさかん 生産量日本一を誇る
九州佐賀国際空港がある

人口 5732人、世帯数 2166世帯。
(令和2年6月末現在)

昭和30年に川副町として発足
平成19年 佐賀市に合併

中央公民館から南川副公民館へ（地区公民館）

平成19年10月	佐賀市に合併
平成24年4月	佐賀市立南川副公民館 落成
平成28年3月まで	教育委員会 川副出張所を兼ねる
平成28年4月	職員体制が変わる（公募による館長）
平成29年4月	現体制になる



中央公民館、教育委員会の出張所として機能していたので、地区公民館として認識が旧市と異なり地域団体との関係性や利用者とのかわり方が希薄だと感じた。

迷いと悩み・・・そして希望

迷いと悩み

地域課題云々というより何が必要なのかわからない

- ・地域の事は、支所の職員が何とか解決してくれる（地域の考え）
- ・サークルさん、地域の方との接点が少ない

希望

元役場職員さんの一言 我々が団結して今こそ川副魂を見せる時

→そんな熱い思いの人々を私は理解しようとしていたのか？
もっと知る努力をしなければ・・・

やっていること（現在進行形）

1. とにかく声をかける（なるべく名で呼ぶ）
「少しだけ」とお願いし、可視化しながら話を聞く
2. 主催講座に川副魂を意識する
3. 主催講座で川副魂を揺さぶる
4. 講座参加者の仲間意識を強める

1. 可視化しながら聞く

幼少期の遊び

懐かしい食事

独特な風習

次世代への想い

とにかく可視化
これをやると
面白い話が
出てきます

2. 川副魂を意識する講座を組む

- ・ 川副の昔話（共催：さが昔話の会）
- ・ 九州佐賀国際空港について
- ・ 海童神社奉納浮立について
- ・ 16mmフィルム映像鑑賞と人権講話
（有明海と干拓、有明海と海苔）
- ・ 詐欺被害防止講座（川副の被害相談数が多い）
- ・ 人権アニメ「おじいちゃんのトマト」と講話 など

3. 川副魂を揺さぶる講座を組む①

平成30年度『やまとうみのよかとこ交流』（海編）角舟大会

平成29年より海と山それぞれの良さに触れ、郷土愛を深めてほしいと始めた海山交流事業
まちづくり協議会の協力を得て海苔漁業で使う角舟を使ってレースを行うことになりました。

まちづくり協議会
子ども達に**配属に勝る体験**を
させてあげたい



公民館
南川副ならではの
体験をやりたいたい



40人ほどの大人が
子ども達をサポート



白熱したレースに
子どもも大人も大興奮

3. 川副魂を揺さぶる講座を組む②

地域の伝統や風習が活きる講座

か ず
和さんの
黒糖奈良漬教室

有明海の恵みをふんだんに活かした粕漬けは
南川副の特産物
和さん（粕漬け屋さん）に奈良漬の漬け方を
習うと共に、有明海の生き物や粕の栄養効果などを
学びました。



海苔の大漁祈願
おはぎまつり

海苔の網張りの日に今年の大漁を願いおはぎを海に持参し、海苔網に着けたり、食したりして大漁を願う風習
がありますが、だんだん簡素化されているそうです。
そこで「おはぎと海苔」「おはぎの作り方」について
聞き込み、多くの賛同者を経ておはぎまつりが開催さ
れました。元漁師さんから「おはぎと海苔」の話も聞
きました。

4. 講座参加者の仲間意識を強める

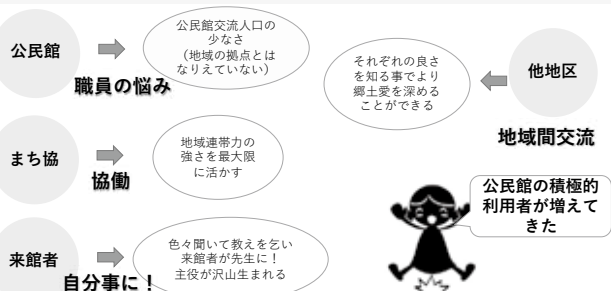
※参加者でなく当事者へ

おはぎまつり → どうしたらおいしいおはぎが作れるか？
→ 試食の機会を設け、アドバイスをもらう
準備はもちろん、当日参加者、非参加者までもがまつりの成果に
気を配るようになった。

※〇〇〇同窓会と称し、講座後の振り返りを行う

（元々地縁が強く同窓会が盛んな地域である）
・ 奈良漬け教室同窓会 2 番漬を持ち寄りみんなで会食する
・ 百人一首同窓会 2 年越しに集まる。講座の再開を願う声が聞かれる

川副魂を意識、地域の認識を高めることで・・・



持続可能な地域づくりへの一歩 （これからがスタート）

- ・ 主体的参加者が増え、公民館への人の流れが変わった。
- ・ 今までの生活がいかに豊かで素晴らしいものだったか！再認識してもらって住民のプライドが保たれる
- ・ プライドの実証は、次世代への自信をもって伝えることに繋がる

持続可能な地域づくりにはまだほど遠い気がしています。しかし主
体的参加者が増えることで公民館が面白いところになっていくと思っ
ています。



白石市斎川公民館（宮城県）

住民と共に歩む地域づくり

白石市斎川公民館 館長 畑中 多賀男



2020.9.3

第72回優良公民館表彰にて『最優秀館』受賞



斎川地区の概要



斎川地区の面積：14,367㎡

人口・世帯数：960人 370戸
(2020.3.31現在)
高齢者人口：418人、高齢化率：43.5%
自治会数：10区
内、世帯数の少ない自治会⇒16世帯
世帯数の多い自治会⇒69世帯
特産品：孫太郎虫・米・凍豆腐・ころ柿
歴史：奥州街道の宿場町として栄えたまち



白石市立斎川小学校
平成30年3月末日統廃合



白石市立南中学校
平成31年3月末日統廃合

「ころ柿づくり体験教室」（H28年度）



市主催「白石笑顔未来塾」への参加

（H29年度）

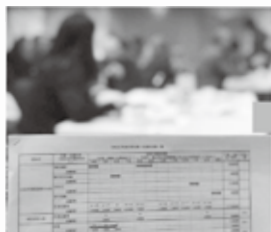


講師：川北秀人氏

斎川地区からは20名ほどの参加
持続可能なまちづくりを学ぶ



行事・会議・組織の棚卸し

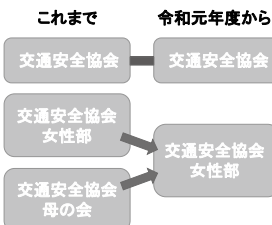


H30年度年間

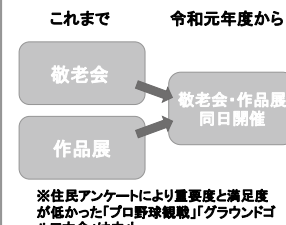
- ・活動時間：5133/14.1時間
- ・活動回数：817/2.2回
- ・役員・従事者数：2875/7.9人
- 人口1000人→2.8役/人

役職の統合と行事の掛け合わせ

【役職の統合】



【行事の掛け合わせ】



地域円卓会議の開催

「お年寄りが生活で困ってきていること」
～買い物・通院の足の問題から考える～



地域→行政が様々な支援制度を行っていることを知ることが出来た
行政→地域が何に困っていて、どんな支援を必要としているか知ることが出来た

ささえあいマップづくりと実験プロジェクト企画会議

個々が持っている情報を
マップに書き込み見える化

今年度どんな取組（実験）を行
うか企画検討



- ・買い物支援
- ・病院への送迎
- ・小さな困りごとのお手伝い
などなど・・・

みんなで共有する

※情報は口外しない！

これまでの歩み

2016 11月 ころ柿づくり体験教室

2017 3月/8月 白石美顔未来塾
12月 地区の現状と将来を予測する

2018 1月 高齢化率×18歳未満同居世帯率・
集落散居図づくり
2月 世代別・地区別「困りごと」ワーク
ショップ
3月 高小中学校閉校
4月末～5月 全住民アンケート
7月 アンケート報告会
9月 若者会議「U-29」
12月 LINE講習会
若者会議「U-49」

2019

1月 行事・組織・会議の棚卸
2月 若者会議の内容全体共有
3月 南中学校閉校
8月 地域円卓会議
11月 敬老会と作品展を合同で行う
12月 ささえあいマップづくり体験会

2020

2月 最優秀公民館に選ばれる
実験プロジェクト企画会議
7月 生活支援事業について学ぶ





◆◆◆ ヌ 毛 ◆◆◆

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.



福岡県公民館大会年表

大会	月日	開催地	大会主題	全体討議テーマ
第1回	昭和28年 1月	県社会教育会館		
第2回	昭和29年 4月	八幡市		
第3回	昭和29年 11月19日 ～20日	筑紫郡二日市町 中央公民館	社教法5周年、青振法1周年を記念し公民館・青年学級の重要な諸問題を研究討議し、具体策を探り、既に展開している生活自立運動の促進を期す	公民館の振興はいかにあるべきかー社会教育の反省と将来
第4回	昭和30年 11月21日 ～22日	大牟田市 中央公民館	戦後10年間の公民館活動を反省し、困難な諸問題について徹底的に研究協議を行い、具体的振興策を樹立すると共に生活自立運動の推進を期す	赤字財政下の公民館をいかに振興するか
第5回	昭和31年 10月25日	飯塚市中央公民館	公民館を社会教育機関として整備強化し、勤労青少年教育の振興事業の効率化・総合化・大衆化をはかり、新生活運動の促進を期す	公民館の現状はこのままでよいのか
第6回	昭和32年 10月19日	豊前市八屋中学校	地方財政の窮迫や町村合併のなかで、公民館の組織運営を強化し、特に分館施設の整備と活動の活発化をはかる	新生活運動の反省と今後の推進方策について
第7回	昭和34年 11月21日 ～22日	福岡市中央公民館	社教法施行10周年を記念し、公民館10年の歩みを顧み新しい時代に即応する公民館のあり方と振興方策の研究	公民館10年の歩みとこれからの公民館
第8回	昭和35年 10月3日 ～4日	大川市市民会館	公民館運営の科学化・技術化を促進し、地域の社会教育センターにふさわしいものとするために設置基準に則して、当面する問題の研究	地域の社会教育センターとしての公民館の整備を計画的に推進するためにはどうしたらよいのか
第9回	昭和36年 6月3日 ～4日	直方市公会堂	地域社会の文化センターとして住民の実生活に即する社会教育の総合的推進に寄与する公民館活動と経営のあり方を求めて	地域の社会教育を総合的に推進するためにはどうしたらよいのか
第10回	昭和37年 5月13日 ～14日	行橋市行橋小学校	楽しく学び、豊かな暮らしと文化をつくるために公民館はどうしたらよいのか	青少年が楽しく学び健やかに成長するために公民館はどうしたらよいのか
第11回	昭和38年 5月25日 ～26日	北九州市戸畑区 文化ホール	住みよい地域社会に豊かな生活文化をつくろう	新しい地域社会の建設と生活文化の向上発展に資するためには公民館はいかにあるべきか
第12回	昭和39年 5月31日 ～6月1日	福岡市市民会館	ひとりひとりの生活をよくし、豊かな市民性を育てるために公民館はどうしたらよいのか	公民館への期待ーとくに市民性の向上を中心としてー
第13回	昭和40年 5月23日 ～24日	筑後市市民会館	変貌する社会における住民の社会教育活動を振興するための公民館の役割	地域住民の生活文化を高めるために果たすべき公民館の役割は何か
第14回	昭和41年 5月24日 ～25日	田川市体育館	住民の創造的生活の確立をめざす自主的な学習活動を育てよう	住民の創造的生活の確立のために（分科会テーマ）
第15回	昭和42年 5月14日 ～15日	豊前市市民会館	今日の生活をみつめ、明日の生活を築くための公民館の役割とそのための施設設備の充実と配置のあり方	地方自治と住民の学習（記念講演）
第16回	昭和43年 5月28日 ～29日	北九州市 八幡市民会館	公民館の近代化と新しい活動の課題を求めて	社会生活の都市化と公民館の課題（記念講演）
第17回	昭和44年 5月31日 ～6月1日	太宰府町九州学園 福岡女子短大	急激な社会構造の変化に対処し得る人間づくりと新しい地域形成のための住民の教育機関としての公民館の新しいあり方と役割	これからの新しい公民館のあり方と役割（記念講演）
第18回	昭和45年 5月26日 ～27日	久留米市市民会館	未来をひらくための学習と公民館のあり方を考えよう	公民館の理想と現実
第19回	昭和46年 5月25日 ～26日	飯塚市 文化センター	住民の学習に応えられるための公民館の施設設備を充実し、職員体制を整備し、市民社会を育てるための教育をすすめよう	岐路にたつ70年代の選択（記念講演） 公民館の理想と現実

大会	月日	開催地	大会主題		全体討議テーマ
第20回	昭和47年 7月6日 ～7日	行橋市市民会館	住民の日常的学習要求に応じる公民館体制の確立と今日的役割を考え、また新しい地域社会（コミュニティ）形成のための公民館活動のあり方を考える		明日を創る公民館の新思路（記念講演）
第21回	昭和48年 5月30日	福岡市立少年文化会館ホール	生活に根ざす公民館活動の創造と前進		生活に根ざす住民の教育要求にこたえるための公民館の役割（シンポジウム）
第22回	昭和49年 6月6日	八女市町村会館	魅力ある公民館の創造と前進	実践発表 対面討議 全体討議	住民にとって公民館とは何か
第23回	昭和50年 6月1日	直方市民会館	豊かな地域づくりをめざす公民館の役割	シンポジウム 講演	コミュニティの形成と公民館 これからの公民館経営
第24回	昭和51年 6月3日	豊前市民会館	住民の生活を高めるための公民館事業のあり方を考える	パネル討議 講演	住民の求めに応ずる公民館事業 住民の生活を高めるための公民館事業
第25回	昭和52年 9月22日	北九州市小倉南市民センター	住民の学習要求に応えるための公民館のあり方を考える	分科会(9) 講演	これからの社会教育
第26回	昭和53年 7月5日	太宰府勤労者体育センター	地域の住民の学習要求に応えるための具体的な公民館のあり方を考える	分科会(8) 講演	地域と社会教育
第27回	昭和54年 7月3日	大川市文化センター	多様化する地域住民の学習要求に応えるための公民館のあり方を考える	分科会(8) 講演	地域が育てる児童文化
第28回	昭和55年 6月12日	中間体育文化センター	地域住民の実際生活に即した公民館のあり方について	パネル討議 講演	地域住民の実際生活に即した公民館の在り方について
第29回	昭和56年 6月3日	行橋市民会館	公民館が果たすべき今日的意義と役割を考える	講演 シンポジウム(3)	青少年をとりまく諸問題に対処する社会教育
第30回	昭和57年 6月9日	北九州市小倉市民会館	住民が主体となる公民館の在り方を考える	講演 分科会(8)	住民が主体となる公民館の在り方を考える
第31回	昭和58年 8月9日	福岡県立福岡勤労青少年文化センター	「住民の実際生活に即した公民館の役割と機能を考える」－今、公民館は地域住民とともに何をしなければならないか－	講演 分科会(9)	「現代の青少年問題を考える」－思いやりのある社会づくりのために－
第32回	昭和59年 6月22日	甘木文化会館	生涯教育の視点に立った公民館経営の在り方を考える	講演 パネル討議(3) 分科会(2)	ニューメディア時代を考える
第33回	昭和60年 6月13日	飯塚文化センター	生涯教育推進の拠点になる公民館のあり方を考える	講演 分科会(8)	生涯教育の推進と公民館の役割
第34回	昭和61年 5月30日	豊前市体育館	生涯学習を推進する公民館の役割・機能を考える	講演 分科会(7)	生涯学習と放送
第35回	昭和62年 8月6日	北九州市立小倉市民会館	生涯学習を推進する公民館の役割・機能を考える	講演 分科会(7)	「豊かな心を育てる地域社会の役割」
第36回	昭和63年 7月27日	福岡県立福岡勤労青少年文化センター	生涯学習社会の形成をめざす公民館のあり方を考える	講演 分科会(7)	「生涯学習社会における公民館の役割」
第37回	平成2年 11月21日	筑紫野市文化会館	生涯学習社会をめざす公民館のあり方を考える	講演 シンポジウム(1) 分科会(4)	「生涯学習社会における公民館の役割」
第38回	平成3年 7月31日	直方市民会館	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演 分科会(5)	地域に根ざした公民館活性化への提言



大会	月日	開催地	大会主題		全体討議テーマ
第39回	平成4年 7月30日	久留米市 石橋文化センター	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演 分科会(5)	学校週5日制…公民館はどうする!!
第40回	平成5年 9月17日	大牟田市 大牟田文化会館	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演 分科会(5)	ボランティアの心
第41回	平成6年 7月29日	田川市 田川文化センター	住民とともに生涯学習社会を目指す 公民館の学習・交流活動のあり方	講演 分科会(5)	生涯学習における公民館の役割
第42回	平成7年 8月3日	行橋市民会館	住民とともに生涯学習社会を目指す 公民館の学習・交流活動のあり方	講演 分科会(5)	公民館を元気に未来的にしよう!! - “愛されるため”の魅力をアップ…インテリジェント化 -
第43回	平成8年 8月7日	北九州市立 小倉市民会館	住民とともに生涯学習社会を目指す 公民館の学習・交流活動のあり方	講演 分科会(5)	生涯学習における公民館 - 粋な生き方と学業国づくり -
第44回	平成10年 8月20日	志免町立 町民センター	生涯学習時代における公民館の主体性と役割を考える	講演 分科会(5)	公民館のこれから - 社会教育を取り巻く環境の変化に対応するために -
第45回	平成11年 7月30日	中間市 なかまハーモニーホール	生涯学習時代における公民館の主体性と役割を考える	講演 分科会(5)	子どもと地域の教育力
第46回	平成12年 7月28日	久留米市 石橋文化ホール	新しい時代への期待、公民館の新たなあゆみを考える	講演 分科会(5)	新しい公民館活動のあり方～21世紀の公民館像をめぐって～
第47回	平成13年 7月27日	筑後市 サザンクス筑後	21世紀の到来、地域とともに歩む 公民館活動の新たな戦略	講演 分科会(5)	家庭教育を支援する公民館活動のあり方
第48回	平成14年 8月2日	飯塚市文化会館	完全学校週5日制スタート、公民館の新たな役割を考える	講演 分科会(5)	社会教育の番は、“今” ～完全学校週5日制に対応した 公民館活動のあり方～
第49回	平成15年 7月23日	荏田町立 中央公民館	地域拠点としての公民館の新たな役割を探る	講演 分科会(3)	メディアから見た地域拠点としての公民館の役割
第50回	平成16年 8月31日	北九州市 北九州芸術劇場	「地域拠点としての公民館、その半世紀とこれからの展望」～未来型公民館の在り方を探る～	講演 分科会(3)	「地域の学習拠点としての公民館」～現状と将来～
第51回	平成18年 8月3日	宗像市 宗像ユリックス	少子高齢社会に対応した公民館の在り方	講演 シンポジウム	地域へのメッセージ・会社の人から社会の人へ少子高齢社会に対応した公民館の在り方を探る
第52回	平成19年 8月8日	直方市 ユメニティのおがた	「公民館の家庭教育支援、今、何ができるか」～子供の生活リズム向上「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動～	講演 シンポジウム	家庭の教育力を高めるために、社会教育の力を公民館の家庭教育支援・今、何ができるか
第53回	平成20年 8月1日	朝倉市 サンライズ杷木	「学校・家庭・地域の連携を推進する公民館の役割」	講演 シンポジウム	「社会全体の教育力向上」～学校・家庭・地域の連携協力～ 「学校・家庭・地域の連携を推進する公民館の役割」
第54回	平成21年 8月1日	柳川市 柳川市民会館	「教育力向上福岡県民運動の推進と公民館」	講演 シンポジウム	「体験活動を通じた青少年の自立とこれからの社会教育」 「教育力向上福岡県民運動の推進と公民館」
第55回	平成22年 8月4日	田川市 田川文化センター	「活力ある地域を創造する公民館活動のあり方」	講演 シンポジウム	「地域づくり・まちづくりと公民館の現代的役割」 「活力ある地域を創造する公民館活動のあり方」
第56回	平成23年 8月4日	行橋市 行橋市民体育館	「新しい公共」とこれからの公民館	講演 シンポジウム	「『新しい公共』とこれからの公民館」 「これからの公民館運営と役割」
第57回	平成24年 8月2日	北九州市 八幡市民会館	「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」に向けて	講演 インタビュー・ダイアログ	「地域の絆を深め、活力あるコミュニティを創造する公民館の役割」 「元気の出るまちづくり」

大会	月日	開 催 地	大 会 主 題		全体討議テーマ
第58回	平成25年 8月29日 ～30日	福岡国際会議場 福岡サンパレス 福岡市民会館	「活力と魅力あるコミュニティづくりをめざして」～自立・協働・創造の実現は公民館から～	分科会(7) 記念講演	※第64回九州地区公民館研究大会（福岡大会を兼ねる）
第59回	平成26年 7月31日	春日市 クローバープラザ	「地域の課題解決や活性化に向けた公民館活動のあり方」	講演 インタビュー・ ダイアローグ	「地域の活性化に向けた公民館の役割」
第60回	平成27年 8月4日	岡垣町 岡垣サンリーアイ	「地域に活力を生み出す公民館の役割」	講演 シンポジウム	「活力を生み出す公民館」
第61回	平成28年 8月10日	久留米市 久留米シティプラザ	「ひとを育て、まちを育む公民館力」	講演 インタビュー・ ダイアローグ	「地域の課題解決に向けて、『公民館』はどうあるべきか？」
第62回	平成29年 8月10日	筑後市 サザンクス筑後	「公民館が核となった人づくり・まちづくりの可能性を求めて」	講演 インタビュー・ ダイアローグ	「持続可能な地域づくり・人づくりに向けた公民館の可能性は？」
第63回	平成30年 8月10日	飯塚市 イヅカコスモスコモン	「持続可能な地域に向けて 公民館が進む道」～この時代だからこそ必要とされる地域の拠点であるために～	講演 インタビュー・ ダイアローグ	「地域を元気にする公民館の仕掛け」 「地域を元気にし、住民から必要とされる公民館」
第64回	令和元年 7月26日	荏田町 中央公民館	「持続可能な地域づくりに向けて 公民館が進む道」～地域住民を巻き込む一体的な取組を創造する公民館活動～	講演 パネル ディスカッション	「魅力ある地域づくりを担う公民館の役割を創造する」 「持続可能をめざした地域づくりに向かう公民館活動の在り方」



2020年度 (2020年5月1日午後4時～2021年5月1日午後4時)

公民館総合補償制度

本制度は、公益社団法人全国公民館連合会(全公連)の制度です。市町村の公民館および自治公民館、また公民館に準ずるものとして全公連が加入を認めたその他の施設等は、名称を問わずご加入いただけます。指定管理者制度を導入された施設もご加入いただけます。

3つの補償で公民館活動をサポート

1. 行事傷害補償

【災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約)+見舞金制度】

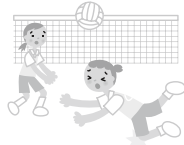
保険

- 公民館行事参加者のケガを補償
- 公民館利用者のケガを補償
- 行事往復途上のケガを補償
- 行事の事前練習や事前準備、後片付けでのケガを補償
- 食中毒や熱中症を補償

見舞金制度

- 疾病や特定傷害に、疾病死亡弔慰金、疾病入院見舞金をお支払いします。
- 特定災害による損害に、特定災害見舞金をお支払いします。

【補償例】



- バレーボール大会参加者が転倒して負傷。

2. 賠償責任補償

【賠償責任保険(施設所有管理者特約、昇降機特約)】

保険

- 公民館の施設・設備等*の欠陥や業務運営のミスにより、第三者にケガをさせたり、財物を損壊したことにより、公民館が法律上の賠償責任を負担しなければならない場合に補償

※ 公民館が所有、使用または管理する財物への賠償事故などは対象になりません。

* 施設にある昇降機(エレベーター、エスカレーター)の所有、使用、管理に起因する賠償責任も含まれます。

【補償例】



- テントの張り方が悪く風で飛ばされ、行事来場者の車を破損。

3. 職員災害補償

【普通傷害保険(就業中のみの危険補償特約)+見舞金制度】

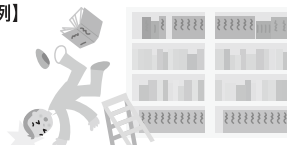
保険

- 公民館事業や業務に携わる方の公民館業務中のケガを補償

見舞金制度

- 公民館事業や業務に携わる方の病気や特定傷害、業務外のケガ、業務中の地震によるケガに死亡弔慰金や入院見舞金をお支払いします。

【補償例】



- 職員が業務中に脚立から転落して負傷。

公民館総合補償制度の特長

(1) 補償範囲や対象者が広い、公民館専用の制度です。

- 全公連が運営する『見舞金制度』に『保険』を組み合わせた公民館や類似公民館の専用の制度で、安心して公民館活動を行っていただけるよう幅広い補償になっています。

★行事傷害補償制度のここがおすすめ★

- 日本国内であれば行事の場所は問いません。 ※別に定める危険な運動中等は対象外です。
- 行事参加者や利用者の居住地は問いません。
- 公民館公認のサークル活動参加者や有償・無償を問わず公民館ボランティアや講師も補償します。
- 公民館が他の団体等の行事に派遣する行事の参加者も補償します。
- 宿泊をとまなう行事も対象です。

(2) 年1回の手続きで安心です。

- 年1回の手続きで年間の主催、共催行事が対象になり、個別の行事の通知は不要です。うっかりして保険の手配を忘れる心配がありません。

(3) 掛金の割引制度もあります。

- 同一市町村内で10館以上まとめて加入されると、行事傷害補償の保険料と見舞金制度掛金に割引が適用できます。
- 職員災害補償の保険料には、団体割引25%、過去の損害率による割引20%を適用しています。

このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては『2020年度版マニュアル 公民館総合補償制度の手引き』をご覧ください。また、本制度全般のお問い合わせ、資料請求等は、エコー総合補償サービスまたは損保ジャパン日本興亜までお寄せください。

■引受保険会社

損害保険ジャパン株式会社

営業開発部第三課

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL 03-3349-3820 FAX 03-6388-0157

(受付時間:9:00～17:00)

■取扱代理店(お問い合わせ・資料請求先)

エコー総合補償サービス株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9

TEL: 0120-636-717 (通話料無料)

FAX: 0120-226-916 (通話料無料)

福岡県公民館連合会ホームページ

福岡県公民館連合会では、市町村の特色ある公民館活動や公立公民館一覧、県公連の活動状況、実践交流会で発表された実践事例等をホームページに掲載し、情報提供に努めています。

福岡県公民館連合会ホームページ

<http://www.fukuokaken-kominkan.jp/>



YahooやGoogleなどの検索サイトから「福岡県公民館連合会」と入力してもご覧になれます。

○「お知らせ」に新着情報を掲載していきます。

○「福岡県公民館大会誌」にこれまでの大会誌を掲載しています。

令和2年10月～
**ホームページ
リニューアル!**

**県公連と県内公民館を結ぶ
情報誌です。**

年3回ホームページ上で発行しています。(7月、11月、3月)

○市町村のページ特集

「特色ある公民館活動」

○こちら県公連



定期更新（年3回）以外に、新着情報の随時更新を行います。
ぜひ、ご覧ください。



官営八幡製鐵所旧本事務所



小倉発祥焼うどん



門司港駅